

国土交通大臣

石井 啓一 様

国の施策等に関する 提案・要望書

(平成28年7月)

鳥取県自治体代表者会議
鳥取県地方分権推進連盟

鳥	取	県	知	事	平	井	伸	治
鳥	取	県	議	会	議	長	正	一
鳥	取	県	市	長	会	長	義	彦
鳥	取	県	市	議	会	長	研	二
鳥	取	県	町	村	会	長	昌	司
鳥	取	県	町	村	議	会	哲	治

アジアナ航空米子仁川便の円滑なLCC移行について

《提案・要望の内容》

○米子・仁川路線は、10月23日にアジアナ航空から子会社のエアソウルが引継いで運航する計画であるが、アジアナ航空の運航終了後、エアソウル就航までに隙間が生じると観光客減少など地域経済への影響が生じるため、切れ目なく円滑に移行できるよう、格段の配慮を行うこと。

※現在の運航申請等の状況

- ・現在、アジアナ航空が米子仁川間を運航しているが、今年10月21日をもって運航終了予定。
- ・エアソウルによる米子仁川路線の国土交通省への申請は9月初旬予定（10月中旬就航見込）。

<参考>

1 米子仁川便の今後の見通し

韓国仁川空港と鳥取県米子鬼太郎空港との間でアジアナ航空の米子仁川便が運航されているが、今年10月中旬以降LCCに移行される予定。

2 エアソウルの概要

- ・代表者：リュウ・グァンヒ
- ・法人設立：2015年4月（免許取得日：2015年12月28日）
- ・資本金：150億ウォン（アジアナ航空100%出資）
- ・運航計画：アジアナ航空機を段階的に移管しアジアナ航空が就航中の中短距離路線に就航予定
- ・機材運営：航空機は単一機種（A321-200）・単一座席（エコノミー）

3 エアソウルが行う今後の手続き（アジアナ航空からの聞き取り）

- ・7月6日に韓国政府 A.O.C（航空安全保安協会）からエアソウル運航認可の交付。
- ・これを受け、日本のエアソウル就航第1弾（10月上旬の高松・静岡線）については、7月8日に国土交通省へ運航許可を申請。
- ・エアソウルによる米子仁川路線の申請は9月初旬頃とのこと（10月23日就航見込み）。

4 山陰にとって重要な路線

米子仁川便は、日韓を結ぶ「交流の翼」として経済・国際・文化など多岐にわたる分野で人・物の交流促進を支え、山陰地域の発展に大きく寄与している。

5 インバウンド増のための路線の役割

近年は観光客をはじめとする訪日外国人を鳥取県に多数誘致することで、観光関連産業等の拡大や本県をはじめとする山陰両県の経済発展に大きく貢献している。

<参考>アジアナ航空米子仁川便の搭乗率（年度別）

年度	提供座席数	搭乗者数	搭乗率
平成13年度	43,686	32,327	74.0%
平成14年度	45,594	31,682	69.5%
平成15年度	45,966	28,652	62.3%
平成16年度	55,276	35,152	63.6%
平成17年度	56,850	29,929	52.6%
平成18年度	57,716	32,029	55.5%
平成19年度	55,852	31,018	55.5%
平成20年度	48,880	30,478	62.4%
平成21年度	53,834	32,406	60.2%
平成22年度	49,500	29,617	59.8%
平成23年度	52,825	30,339	57.4%
平成24年度	51,134	28,378	55.5%
平成25年度	51,304	24,384	47.5%
平成26年度	52,508	30,213	57.5%
平成27年度	50,542	34,440	68.1%
合計	720,925	426,604	59.2%

【現在の米子仁川路線の運航状況】

- 1 航空会社 アジアナ航空
- 2 運航機材 A321（171席）
- 3 運航日程
〔週3便〕
日曜 仁川 12:30→米子 14:00
米子 15:00→仁川 16:40
火曜 仁川 12:30→米子 14:00
米子 15:00→仁川 16:40
金曜 仁川 9:30→米子 11:00
米子 12:00→仁川 13:40